

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-43	高等学校	国語	古典 B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
104 数研	古 B 343/344	改訂版 古典 B 古文編 改訂版 古典 B 漢文編		

1. 編修の基本方針

学習指導要領における目標が達成されるよう、学習指導要領の内容やその取り扱いに示された事項に準じて編修した。全体の構成は、学習の実際を考慮して古文編と漢文編の分冊形態とし、それぞれ第一章と第二章の二部構成とした。単元は、ジャンル別単元とした。本文中のコラム「ズームアップ」「解説」、巻末の資料編、見返しに参照用資料を掲載して、学習の手助けとなるように工夫した。

2. 対照表

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
古文編		
古典文学の世界 ズームアップ	教材の読解にとどまらず、教材に関連したテーマの理解を深めたり、読書活動につなげたりできるようにした。(第1号)	見返・口絵 10頁ほか
第一章・説話 第一章・軍記物語 第二章・近世随筆	社会において個人の価値を認められて活躍した人物の登場する題材を扱うことにより、個人の能力や創造性を尊重する価値観の普遍性について考察できるようにした。(第2号)	8頁～17頁 98頁～107頁 226頁～231頁
第一章・歌物語 第一章・日記文学(一) 第二章・日記文学	和歌を通して表現されている心情を理解することで、豊かな情操を育てられるようにした。(第1号)	18頁～31頁 108頁～111頁 134頁～155頁
第一章・物語 第二章・物語	登場人物の細やかな心理描写を通して、豊かな情操をはぐくめるようにした。(第1号)	50頁～67頁 156頁～181頁
第一章・随筆(一) 第二章・随筆	宮廷社会での作者の姿を通して、個人の能力を養い、自律した個人として生活する大切さの普遍性が理解できるようにした。(第2号)	32頁～43頁 126頁～133頁
第一章・随筆(二)	隠棲者の文学を扱うことにより、自己と社会との関わり方について考察を深められるようにした。(第3号)	68頁～81頁
第一章・和歌・歌謡・俳諧	和歌に表現された自然描写を通じて、古来日本で尊ばれてきた自然の美に触れられるようにした。(第4号)	112頁～124頁

第一章・日記文学(一) 第二章・評論	先人がどのようにして古典文学を尊重しはぐくんできたかを理解できるようにした。(第5号)	44頁～49頁 202頁～225頁
第一章・歴史物語 第二章・歴史物語	さまざまな歴史上の人物が登場する題材を扱ったり、異なる立場で書かれた歴史物語を対比して扱ったりすることにより、歴史の伝わり方に対する考察を深め、真理を求める態度を養えるようにした。(第1号)	82頁～97頁 182頁～201頁
第二章・近世小説	近世にいたって散文学の素材がどのように変化し、どのようにして享受されてきたかが理解できるようにした。(第5号)	232頁～240頁
漢文編		
第一章・故事 第二章・逸話	故事成語として伝わる漢文の逸話を取り上げることにより、中国の故事と我が国の伝統的な国語文化との関連について理解を深められるようにした。(第5号)	8頁～13頁 70頁～75頁
第一章・漢詩	「寄李儋・元錫」では、社会に生きる個人としての志をうたった詩を取り上げることにより、社会形成に参画する態度を養えるようにした。(第2号・第3号) 「ズームアップ」では、漢詩に取材した訳詩をとりあげることによって、我が国の文学作品と中国文学との関連について考察できるようにした。(第5号)	14頁～23頁
第一章・史伝 第二章・史伝	古代の中国において個人の価値を發揮した人々の伝記を取り上げることにより、個人の能力や創造性を尊重する価値観の普遍性について考察できるようにした。(第2号)	24頁～39頁 104頁～121頁
第一章・文章 第二章・文章	我が国で古くから名文の手本として読み継がれてきた漢文作品を取り上げることにより、伝統的な言語文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号)	40頁～47頁 122頁～129頁
第一章・思想	さまざまな思想家の考え方を取り上げることにより、幅広い知識と豊かな情操を養えるようにした。(第1号) 道家・法家と儒家の思想を対比する形で扱うことにより、自己と社会との関わり方について考察を深められるようにした。(第3号)	48頁～68頁
第二章・小説	我が国の近代小説に影響を与えた中国の古典小説を取り上げることにより、日本文学と中国文学の関係性について理解を深められるようにした。(第5号)	76頁～89頁

第二章・漢詩(一)	「桃夭」「迢迢牽牛星」では結婚や恋愛をうたった詩を取り上げることにより、個人を尊重する価値観の普遍性について理解を深められるようにした。(第2号) 「子夜呉歌」「兵車行」では個人と戦争の関係をうたった詩を取り上げることにより、生命を尊ぶ価値観を養えるようにした。(第4号)	90頁～97頁
第二章・随筆・詩話	「天下貴大同」では、他文化理解を前提とした共生を説く明代の文章を取り上げることにより、公共の精神を養えるようにした。(第3号)	98頁～103頁
第二章・漢詩(二)	我が国の古典文学に大きな影響を与えた「長恨歌」を取り上げることにより、日本文学と中国文学の関係性について理解を深められるようにした。(第5号)	130頁～139頁
第二章・日本漢文	我が国で文学作品として漢文が著されてきたことを学習することにより、日本文学と中国文学の関係性について理解を深められるようにした。(第5号)	140頁～144頁

3．上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- (1)教材本文下段では、専門性の高い用語や解釈が難しい箇所脚注を設け、円滑な学習ができるようにした。
- (2)教材本文下段では、教材を読み味わうためのきっかけとなる脚注問を設け、「読むこと」の学習が適切に行えるようにした。
- (3)教材本文下段左では、古典文法や漢文訓読の決まりの理解を助けるため、教材本文中の重要語・漢文句法などをまとめた。
- (4)教材末尾では、「学習」「ことばと表現」の各設問を設け、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の指導事項や言語活動を具体的に提示した。

第一章	思想	荀子 性悪	○	○	○					○								54 ~ 55		
		老子 無為之治																		
		老子 無用之用	○	○	○						○								56 ~ 58	
		老子 小国寡民																		
		莊子 曳尾於塗中																		
		莊子 夢為胡蝶	○	○	○						○									59 ~ 61
		莊子 木鷄																		
		韓非子 侵官之害	○	○	○															62 ~ 63
		孫子 知彼知己百戰不殆	○	○	○						○									64 ~ 65
孫子 風林火山																				
墨子 非攻	○	○	○															66 ~ 68		
		ズームアップ 諸子百家																		
第二章	逸話	知音	○	○	○					○									70 ~ 71	
		梁上君子	○	○	○															72 ~ 73
		三横	○	○	○															74 ~ 75
	小説	売鬼	○	○	○															76 ~ 78
		人面桃花	○	○	○															79 ~ 82
		酒虫	○	○	○										○					83 ~ 85
		落雷裁判 ズームアップ 中国の小説	○	○	○															86 ~ 89
	漢詩(一)	古体詩	○	○	○					○	○								90 ~ 97	
	隨筆・詩話	売油翁	○	○	○															98 ~ 99
		天下貴大同	○	○	○										○					100 ~ 101
		唐詩絶句誤字	○	○	○															102 ~ 103
	史伝	伯夷・叔齊	○	○	○										○					104 ~ 107
		廉頗・藺相如	○	○	○						○									108 ~ 113
		荆軻 ズームアップ 食客と刺客	○	○	○															114 ~ 121
	文章	捕蛇者説	○	○	○															122 ~ 125
		赤壁賦	○	○	○										○					126 ~ 129
	漢詩(二)	長恨歌 ズームアップ 唐の繁栄と衰退	○	○	○															130 ~ 139
	日本漢文	日本漢詩	○	○	○										○	(4)イ				140 ~ 141
		日本漢文	○	○	○										○	(4)イ				142 ~ 144